熊谷スマートシティ伴走支援業務委託
公募型プロポーザル競争選定結果について

熊谷スマートシティ伴走支援業務委託を実施するに当たり、プロポーザル競争によりその契約の相手方となる契約候補者を下記のとおり選定した。

記

1　業務委託名

熊谷スマートシティ伴走支援業務委託

2　契約候補者

株式会社ＲＥＧＩＯＮＡＬ　ＧＡＴＥ

3　全提案者の名称

株式会社ＲＥＧＩＯＮＡＬ　ＧＡＴＥ

4　全提案者の評価点（得点順）

審査項目	集計満点	株式会社 REGIONAL GATE
⑴実施体制、スケジュール、業務実績	60	43
⑵熊谷スマートシティが推進する各プロジェクトの全体伴走	90	66
⑶気象データを活用した暑さ対策施策の検討及び実証計画の設計、気候テック企業の実証支援	120	85
⑷ロボット・ドローン産業誘致	60	41
⑸気象データ活用先導的農業支援	60	38
⑹学生や若い世代を中心とした、未来のまちづくりを担う人材育成支援	60	45
⑺その他有益な提案	60	39
⑻提案価格（１者のため考慮しない）	－	－
合　計	510	357
順　位		1

5　契約候補者の選定理由

契約候補者として選定された株式会社REGIONAL GATEは、熊谷スマートシティの公民連携に関する取組をよく分析した上で、令和７年度にスマートシティの伴走支援業務を受託した経験を踏まえた提案を行っていた。

業務の中心となる「熊谷スマートシティが推進する各プロジェクトの全体伴走」では、意思決定リードタイムの短縮（前年対比30％以上削減）を実現するための支援体制について具体的に提案があり、評価が高かった。

また、「気象データを活用した暑さ対策施策の検討及び実証計画の設計、気候テック企業の実証支援」においては、これまでの立正大学との連携実績を基にした知見や関係性を活かし、企業における暑さ対策推進の研究に対する伴走と新たなデジタルサービスを結びつける策を生み出す期待感が持てた。

更に、「学生や若い世代を中心とした、未来のまちづくりを担う人材育成支援」においても、パートナー企業と効果的に連携しながら、学生のアイデアをアイデアで終わらせないためのワークショップ企画の２年目の運営について、具体的な提案があった。

6　熊谷スマートシティ伴走支援業務委託プロポーザル審査委員会委員及び選任理由

氏名（所属）	選任理由
長井　秀徳（市長公室長） 市原　倫子（市長公室政策調査課長） 杉本　正代（市長公室政策調査課スマートシティ担当副参事） 秋山 光太郎（環境部環境政策課長） 茂木 幸（産業振興部商業観光課まちなか再生担当副参事） 野口 一都（産業振興部企業活動支援課長）	適正かつ適切な選定のための見識を有するものとして、熊谷市のスマートシティ政策に携わる者のほか、まちなか再生や企業誘致、暑さ対策に携わるものから選任した。